

令和2年度 第2回まちづくり総合委員会 議事要旨

日時：令和2年10月1日（木）10時～

場所：北広島町役場本町2階会議室

出席者

委員	三浦委員長・小笠原副委員長・砂原委員・長田委員・織田委員・加計委員 藤田委員・宇川委員・寺田委員・友田委員・伊藤委員・仲野委員・板倉委員
事務局	財政政策課 植田課長・高野係長・向井・山岡
委託事業者	(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 井原

1. 開会

2. 開会あいさつ

事務連絡（事務局）まちづくり総合委員の交代について

新委員 広島銀行千代田支店支店長 加計 正春 委員

3. 議事

議事1	件名	第2次北広島町長期総合計画後期基本計画の策定について
	内容	事務局より、第1回まちづくり総合委員会の実施内容の報告、第2次北広島町長期総合計画後期基本計画の策定における取組の方向性について説明をする。 後期基本計画の策定にあたり、今年度、町民意識調査（アンケート）、企業・団体ヒアリング、インタビュー型ワークショップ等を実施する。アンケートは、16歳以上の方を無作為に抽出して行う。内容等について、委員の皆様から意見をいただき、今年度中には発送・回収の予定としている。ワークショップについては、委託事業者の提案を受け、コロナ禍ということもあり、少人数でインタビュー形式にてワークショップを予定している。インタビュー型ワークショップ及び企業・団体ヒアリングについては、今後、団体や参加者を決めて実施していく。詳しい実施内容については、委託事業者である(株)ジャパンインターナショナル総合研究所（以下：ジャパン総研）の井原様から説明いただく。
議事2	件名	第2次北広島町長期総合計画後期基本計画に係る実施方針等の説明
	内容	ジャパン総研より、第2次北広島町長期総合計画後期基本計画に係る実施方針等について、資料4から資料8を用いて説明を行う。 ①資料4（令和2年度北広島町現状把握統計資料）及び資料8（社会動向の整理）について （委員長） 下水道については今後どうするか考えないといけない時期であるが、町の方では考えているか。 （事務局） 今後広域化も含めて検討している。これという具体的な形で

	<p>は決まっていない。</p> <p>(委員長) これまで3つの省庁がそれぞれ施策を進めていたが、今後は垣根を越えて、今後10年くらいでゴールをつくり、以降は維持管理を進めるとされている。このあたりで読み取り方が変わってくると思意見した。</p> <p>(委員) 9Pに(3)障害者福祉について、放課後等デイサービス事業所参入か所が0か所から2か所となって大変よいことだと思う。どの地域だったのか教えていただきたい。</p> <p>(事務局) 千代田地域だったかと思う。</p> <p>(委員) 人口千人当たりの職員数の推移について、広島県の平均と比べると、かなりの差がある。職員や臨時職員の多さ、人件費の多さがある。人数を広島県平均くらいまで落とせないか。</p> <p>(事務局) 職員については、定員管理計画に基づいて職員数を減少させている。確かに県内町平均に比べると多い状況である。年齢層で多い少ないなどある。定員管理計画に基づいて、見極めながら管理していきたい。</p> <p>(委員長) 現状値として、令和元年度は元々の令和3年の目標値と比較して、それ以上に減らしている状況である。千人当たりに換算すると減っていないが、人口減少の加速との兼ね合いもある。一般論ではあるが、合併した市町村は合併前の従前の職員をそのまま雇用するなどもあり、その辺りも含めて考えていく必要がある。</p>
内容	<p>②資料5（第2次北広島町長期総合計画後期基本計画に係る実施方針）及び資料6（住民意識調査（案））について</p> <p>(委員長) 住民意識調査（アンケート）について、前回実施した住民意識調査と比較し、総合計画についての説明の追加、問11について施策分野並びになっている点、問13の幸福度に関する設問の追加、問16のSDGsに関する設問が追加されている。その他の設問については、前回と比較をするという観点から、変更していない。</p> <p>(委員) 住民意識調査の比較は前回比較で問題ないが、前回の会議にあった庁内評価（順調、少し遅れているなど）に対して、実際に満足度が上がっているのかどうか、実施事業と満足度との比較をすると、行政と町民の意識の違いがわかると思うので、そこも併せて分析してほしい。</p> <p>(ジャパン総研) 比較してお示しする。</p> <p>(委員) アンケート自体は必要だと思うが、住みたくなる、帰りたくなるという文言＝Uターン促進のことについて、Iターンも必要だが、実際に考えてみるとUターンを促進する以外に町を維持する方法はないと思う。なぜUターンしてこないのか、こういうことはアンケートを出す人</p>

	<p>からは反映できないことかもしれないがやってほしい。何かひとつ横断的な目標としてUターンに関するものを考えてほしい。全体は悪くはないが、なぜ、Uターンが進まないかなどもアンケートの調査に加えてもらえたらと思う。</p> <p>(ジャパン総研) インタビュー型ワークショップという形で移住してこられた方にお話しを伺う予定としており、その中で、移住者の方がどうして北広島町を選んだのか、移住してくるきっかけや魅力などを把握する想定である。こういったターゲットに対して、北広島町の魅力が当てはまるのかについても分析していきたい。</p> <p>(委員長) インタビュー型ワークショップのセグメントに移住者、子育て世代、働く女性とあるが、それより下の世代（高校生や大学生）も必要だと感じた。Uターンに関連することとして、町外の人たちに聞くのはどうか。また町出身者で町外に住んでいる人向けの調査をするべきではないか。広島県では首都圏に出た出身者へのアンケートもしていた。一人ひとり把握できるのかという問題もあるが、セグメントに関しては高校生、大学生は是非設定をしてほしい。住民意識調査が16歳以上なので、十分対応できると思う。</p>
内容	<p>③資料7（第2次北広島町長期総合計画（後期計画）策定のためのヒアリング調査）について</p> <p>(委員長) 資料5のヒアリングシートの項目（案）として5つ挙げているが、ヒアリングシートにおいては区別していない。ヒアリングシートの項目は資料5の案にあるような区分をしっかりと聞いていただいた方がよいと思う。</p> <p>(ジャパン総研) ご意見参考にさせていただいて、より答えやすい形で修正させていただきたい。ヒアリングの対象団体を前回よりも増やす可能性も出てきており、施策分野を少し細かくした内容で修正した方がよいかもという事務局側での検討もしているので、その辺りにもご意見いただきたい。</p> <p>(委員長) 説明がないと書きにくいと思う。“協働”というのも具体的にこういった内容なのか例示があると答えやすくなると思う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※協働…住民と町又は住民同士や各種団体がそれぞれに果たさなければならない責任と役割を認識し、互いに補い合い、協力することをいう。（北広島町まちづくり基本条例第2条第5項より）</p> </div> <p>(委員) 横文字が多くてついていけないところがある。協働やSDGsなどもわかりにくいと感じる。横文字の説明をどこかでした方がよいと感じる。聞きなれない言葉が多い。</p> <p>(委員長) 調査票を作成する際に、受け手によって認識の異なるような</p>

	<p>ものにしては良くない。別紙としてつけるのもあり。</p> <p>(委員) 個人調査は無作為だが、団体はどういったところに出すのが気になる。前の資料をみると、自治会振興会主催の研修会の参加人数が少ない。協働について真剣に話すことがあまりない。どの団体に出すのが気になる。</p> <p>(事務局) 前回策定する際は、各地域協議会、NPO 団体、商工会、JA、森林組合、消防団、女性会、老人会などで実施した。今回、施策分野と関わりなどを考慮し、例えば、観光協会、総合型スポーツクラブ、社会福祉協議会、公共交通事業者、自主防災組織など入ってくるだろうと思う。</p> <p>(委員) それで悪いとは思わないが、人口減少している中で、活動できるグループが人員的な問題で減っている。そのようなグループと話をすることで生々しい話もできる。研修会に参加しないのも興味がないというのが大きい。少し小さいグループで話を聞くのも一つの手法ではないかと思った。小さい頃（小学生・中学生）は住み続けたいと考えているが、高校生、大学生くらいになると帰ってきたくなくなってしまうところも見えている。地域の中で話をできる機会があることが大事じゃないかと思う。</p> <p>(委員長) 「住民」と書かれている住民のイメージはどうかと考えた。NPO などで出身者以外が活動していたり、企業で活動したりしている人たちは自分たちを北広島町の「住民」というイメージではないと感じているのではないか。住所がある人なのか、町に関わりがある人なのか、その辺りを明確にした方がよいのではないか。</p> <p>(事務局) アンケートは住民票がある方に届くが、団体のヒアリングについては町外の人で関わっている人もいるので、用語の説明として必要と思う。</p> <p>(委員) アンケートを自分自身で答えてみたが、問10で住みよい、住みにくいで14項目あるが、住みよい、住みにくい、全てあたっている気がした。北広島は非常に広い地域なので、町としての長期総合計画は必要だと思うが、地域で考え方も変わってくるところがある。地域に合わせた考え方も必要なのではと感じた。</p> <p>(委員) ヒアリングについて、とても答えにくいと思った。最初の調査のお願い文でもう少し説明してもらい、どういう視点で書いたらよいかははっきりしていると答えやすいと思う。協働のまちづくりについて書いてほしいとか、団体が位置しているところでの取組やまちづくりについてなど、投げかけがあってほしい。</p> <p>(委員長) 回答側としては何を聞いているのか見えた方が書きやすい。構成について考えてほしい。</p>
--	---

議事 3	<p>件名</p> <p>内容</p>	<p>質疑応答・その他意見等</p> <p>(委員) 北広島町は広い範囲で色んな方が暮らしていて、地域性もある。色んな意見があると思うので、まとまるのは難しいと思うが、意見を聞いていってもらいたい。</p> <p>(委員) 農家のことについてだが、あきらめや5年先はどうなるのか危機感がすごくある。田んぼは法人に預けて、それが大丈夫になると若者が草刈りにも帰ってこない。小さい地域では人がいないので、役が多く回ってくる。預けた法人も最初は人がいたが、人が減ってきている。そういう状況で地域は危惧している。</p> <p>(委員) 5年、10年後に対する不安ばかり。県の広報が新聞に入っており、町のスポーツを通したまちづくりでソフトテニスクラブが紹介されていた。高齢者がどう健康寿命を延ばしていけるのかが願いなので、策定に反映できればと思っている。</p> <p>(委員) 調査について、人口の少ない地域の意見もしっかり見てほしい。企業・団体へのヒアリングシートについて、住民意向調査についてはオンラインがあったが、団体の方が FAX か直接窓口とへあったが、メール回答や Google Form も使えたら使ってほしい。</p> <p>(委員) 住民意向調査について、インターネット回答はとてありがたい。ペーパーよりも手軽にできる。幸福度を聞いた後の理由について、生活を振り返った実際の想いが吐露されると思うので、活用分析をしっかりお願いしたい。</p> <p>(委員) アンケートの中で、将来、町に住みたいとか中学3年の資料にも出ている。年齢が上がると変わる場所もあるが、その中で施策に取り組んでいると思う。地域によって子どもの人数にも差がある。学校現場においては、生徒数に差があり、単一クラスですずっと暮らす子どもたちもいる。地域の特性を生かすということを計画の中に踏み込んでいけたらいいのではないかと。</p> <p>(委員長) 中学生にも同様のアンケートは取れるのか。</p> <p>(委員) 中学生でもできるが、項目や聞き方など実施方法を考えないといけない。</p> <p>(委員長) 北広島町の場合は高校から外にでる人も多いので、中学生の意向も聞けるといいのではないかと。そのあたりは、中学校の現場等と話をしてほしい。</p> <p>(委員) アンケートについてどういう趣旨でやるのか説明があった方がよいと思う。一番の課題は人口減少だと思う。アンケートにしてもポイントを絞ってアンケートしたほうがよい。住民にもっと町が困っているということが伝わるようにした方がよい。若い人の意見をアンケートに</p>
------	---------------------	---

	<p>入れ込むようにして、若い人のアイデアや考え方を聞き込み、人口減少などより具体的に的を絞ってやった方が、価値があるのではないかと思う。それでヒントや兆しがでるのではと思う。</p> <p>(委員長) まちづくり総合委員会では町の状況など色々イメージができるが、町民に対して、後期計画を策定するからだけでなく、後期計画でどうしていきたいのかというメッセージを出して、皆さんの意見を聞きたいといったような思いを示していった方が良いと感じた。</p> <p>(委員) 長期総合計画は今後の北広島町の方を決めてしまうということで、人口問題をどうするのかということで緊急度が高いと思う。いかに差別化を図り、どのようにアピールするのが大事。アンケートは良いが、現状の改善というところになってしまう。どうしたいなど未来を語るようなところが重要だと思う。住民ではなく、外部の方からもインパクトのあるような施策を打ち出すのも良いのではないか。</p> <p>(委員) 地域が広いので、小さい団体の意見も非常に重要だと思う。地域ごとの悩みやこれからのことを考える機会にしていきたい。</p> <p>(委員) ヒアリングの団体のことを聞いて、認識のずれがあるなと感じた。商工会や地域協議会にしてもアンケートをしなくても直接話をしていったらと思う。商工会や地域協議会にどこにヒアリングをしたらいいか、推薦してもらい、もっと意味のあることをしていただければと思う。</p> <p>(委員長) みなさまご意見ありがとうございました。それら整理をしていただき、逐次皆さんに進め方などを情報が来ることになるので、気づきなどあれば言って欲しい。全体メンバーで共有できるようにして、常に気にしながら進めていただければと思うので、見守りご意見いただきたい。</p>
--	--

4. 閉会